

18歳以上の患者のみなさま

インチュニブ[®]を 飲んでいるみなさまへ

—正しく飲んでいただくために—



【監修】

国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 知的・発達障害研究部

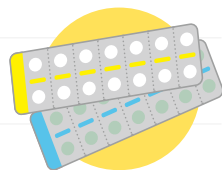
部長 岡田 俊 先生

(監修いただいた際のご所属先とは異なります)

18歳以上の患者のみなさま

インチュニブ®を飲んでいるみなさまへ

—正しく飲んでいただくために—



目次

AD/HDとは	2
インチュニブ®はこんなお薬です	3
インチュニブ®の脳内での作用	4
インチュニブ®を飲む前にご確認いただきたいこと	5
インチュニブ®の飲み方	6
インチュニブ®を飲んでいる時にご注意いただきたいこと	9
こんな時はどうすればいいの?	13

AD/HDとは

- AD/HDとはAttention-Deficit/Hyperactivity Disorder(注意欠如・多動症)の略で、12歳になる前から、年齢あるいは発達に不釣り合いな注意力の障害、及び／又は多動性、衝動性が認められ、そのために社会的な活動や学業／職業の機能に支障をきたす状態をいいます。
- 不注意や多動性、衝動性は、他の精神疾患によっても生じ得ますが、12歳になる前にAD/HD症状を認めない場合にはAD/HDと診断しません。一方、AD/HDには、うつ病、双極性障害、不安症などを高率に合併します。これらの精神疾患以外にAD/HDがあることを診断するためには、12歳になる前から症状が存在することを問診で確認します。

不注意



- ・締め切りに間に合わない
- ・業務を最後までやり遂げられない
- ・事務書類等をしばしばなくす
- ・折り返し電話をすることを忘れる
- ・話していても、上の空に見える
- ・行っていることと無関係なことが思い浮かんで集中できない など

多動性・衝動性

●多動性



- ・頻回にオフィスの席を立ち、部屋を出る
- ・長時間じっとできない
- ・おしゃべり
- ・仕事などの際、短時間で何だか落ち着かなくなる など

●衝動性



- ・会話場面で、必要以上に他者の発言に割り込み、話し始める
- ・一列に待つ場면을不適切なほど回避する
- ・他の人が行っていることに割って入ったり、取り上げたりする など

インチュニブ[®]はこんなお薬です

小児(6歳から18歳未満)及び
成人(18歳以上)のAD/HD治療薬で、
「不注意」「多動性」「衝動性」の改善が
期待されます。

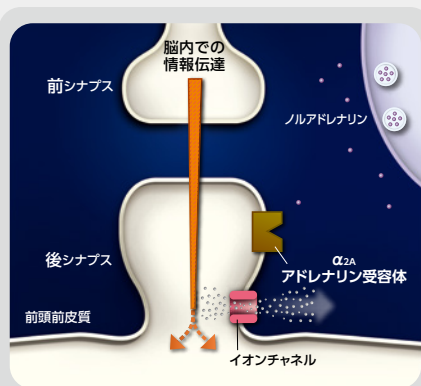
1日1回飲むお薬です。



インチュニブ®は、脳内での情報伝達を増やす作用があると考えられています

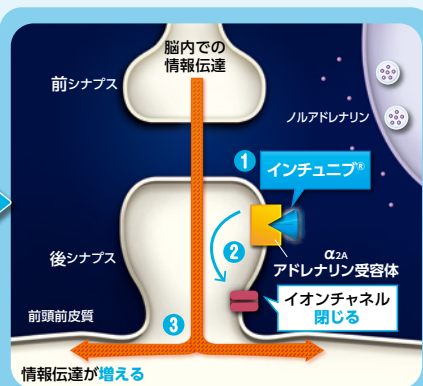
- AD/HDの原因は解明されていませんが、脳内での情報伝達が弱まっている可能性があります。
- インチュニブ®は、脳内での情報伝達を増やす作用があると考えられています。これにより、AD/HD症状の改善が期待されます。

●脳内での情報伝達 (前頭前皮質)



脳内では、神経表面にある受容体やイオンチャネルによって、情報伝達が調節されています。

●想定される インチュニブ®の作用



インチュニブ®を飲むことで、

- ①後シナプスにある α_{2A} アドレナリン受容体にインチュニブ®が結合して、
- ②イオンチャネルが開じるため、
- ③脳内での情報伝達が増えると考えられます。

【参考】 Arnsten, A.F., et al.: Pharmacol. Biochem. Behav., 2011, **99** (2), 211
インチュニブ®電子添文

AD/HDにおけるインチュニブ®の作用メカニズムは、完全には解明されていません。

インチュニブ®を飲む前に ご確認ください

心当たりのある方は、主治医又は薬剤師にご相談ください。

●下記のいずれかに該当する方は、インチュニブ®を飲むことができません。

- ☒ インチュニブ®の成分(グアンファシン塩酸塩)に対し過敏症の経験がある方
- ☒ 妊娠している又は妊娠の可能性のある方
- ☒ 房室ブロック(第二度、第三度)のある方

●妊娠を希望する場合は、主治医にご相談ください。

●下記に該当する方は、その症状や程度により、インチュニブ®を慎重に検討する必要がありますので、主治医にご相談ください。

- ☐ 低血圧、起立性低血圧、徐脈、心血管疾患のある方又はその経験がある方、血圧を低下又は脈拍数を減少させる作用のあるお薬を飲んでいる方
- ☐ 高血圧のある方又はその経験がある方
- ☐ 不整脈又はその経験がある方、先天性QT延長症候群の方、又はQT延長を起こすことが知られているお薬を飲んでいる方
- ☐ 狭心症及び心筋梗塞などの虚血性心疾患のある方又はその経験がある方
- ☐ 脳梗塞などの脳血管障害のある方
- ☐ 重度の肝機能障害のある方
- ☐ 重度の腎機能障害のある方
- ☐ 抑うつ状態の方

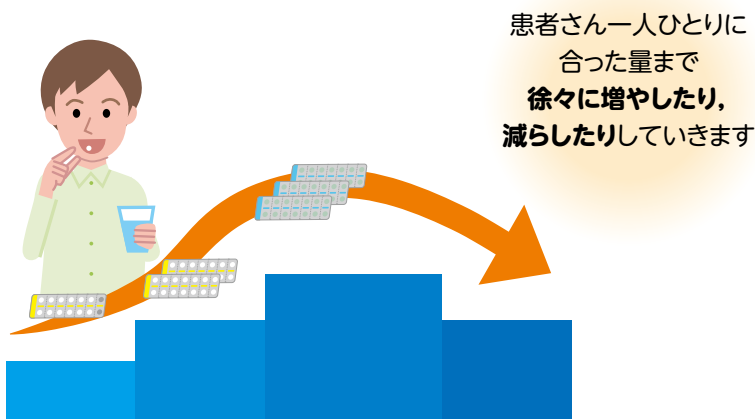
インチュニブ®の飲み方

基本的な注意

- AD/HDの症状(不注意, 多動性, 衝動性)をコントロールするためには, 主治医の指示通りに, 毎日きちんとお薬を飲むことが大切です。
- 飲み忘れないように注意してください。
また, 飲み忘れた場合は, 主治医又は薬剤師にご相談ください。
- 飲むのを勝手にやめないでください。

飲む量

インチュニブ®の飲む量は, 主治医が患者さんの「症状」や「お薬の効き方」, 「副作用の有無や程度」などをみながら, 患者さん一人ひとりに合った量まで増やしたり減らしたりして決めています。



インチュニブ®の飲み方

錠剤の種類

インチュニブ®には、1 mg錠と3 mg錠の2種類の錠剤があります。



表



裏

1 mg錠



表



裏

3 mg錠* (実物大)

*: 3 mg錠の錠剤表面に、成分に由来する色ムラや斑点が認められることがありますが、品質には問題ありません。

飲む回数

1日1回飲むお薬です。

飲む時間

主治医の指示通りに、
毎日おおよそ決まった時間に飲んでください。

錠剤の飲み方

インチュニブ®は、割ったり、砕いたり、
すりつぶしたりせず、そのままかまずに、
お水やぬるま湯で飲んでください。





他のお薬を飲んでいる場合

他にも飲んでいるお薬があれば、主治医又は薬剤師にお伝えください。
また、インチュニブ®を飲んでいる時に他のお薬を飲むことになった場合も、主治医又は薬剤師にお伝えください。

(お薬の効果が変わったり、副作用が出る可能性があります)

インチュニブ®を飲んでいる時に注意すべきお薬など

- アルコール
- 血圧を低下又は脈拍数を減少させる作用のあるお薬
- 中枢神経抑制剤
- バルプロ酸
- イトラコナゾール, リトナビル, クラリスロマイシン など
血中濃度に影響を与え、インチュニブの作用が強く
あらわれる可能性があります。
- リファンピシン, カルバマゼピン, フェノバルビタール,
フェニトイン など
血中濃度に影響を与え、インチュニブの作用が弱くなる
可能性があります。



インチュニブ®を飲んでいる時にご注意ください

インチュニブ®を飲むと、
下記の症状があらわれることがありますのでご注意ください。

〔18歳以上の方は、インチュニブ®の投与開始時や用量調節時に、**血圧低下**や**眠気**に関する副作用
(多くは軽度又は中等度)があらわれやすい可能性があるものの、
投与を継続する中で軽減あるいは消失する場合があります。〕

このような症状があらわれた場合でも自己判断で服薬を中止せず、主治医に相談してください。
主治医の判断により、増量せずにしばらく様子をみたり、
減量したりするなどの対応が行われることがあります。



●血圧低下／低血圧や徐脈による自覚症状

頭が痛い

ふらつき

めまい

立ちくらみ

●失神及び失神の前駆症状

気を失う

気分が悪い

視野がぼやける

など

●眠気による自覚症状

眠くなる

体がだるい

ぼーっとする

●その他に注意する必要がある症状

- ・口の中が渇く症状があらわれる可能性があります。
- ・攻撃的な態度や行動があらわれる、又はひどくなる可能性があります。
- ・「死んでしまいたい」などと言ったり、関連するような行動をとったりする可能性があります。

上記以外にも、いつもと違う様子がみられたら、

だきたいこと

血圧、脈拍数のこと

インチュニブ®を飲むと、**血圧低下／低血圧(血圧が下がる)、徐脈(脈拍数が減少する)**があらわれる可能性があります。

対策

- インチュニブ®を飲み始める前と飲んでいる間は定期的に、血圧や脈拍数の測定が行われます。

注意点

- 脱水状態になると血圧が低下する可能性がありますので、脱水にならないよう、水分を十分にとってください。
- 脱水の症状(のどの渇き、ぼーっとする など)があらわれた時は、経口補水液で水分と電解質を補給するなどの処置をとってください。
- インチュニブ®の投与開始時や用量調節時に、血圧低下に関する副作用があらわれやすいことが、国内の臨床試験で報告されています。
- インチュニブ®を飲むのを急にやめてしまうと、**一時的に血圧が上がったり、脈拍数が増加したりすることがあり**、海外においては高血圧性脳症(急激な血圧上昇で頭痛、吐き気、けいれんなどが生じること)に至った例が報告されています。

すぐに主治医又は薬剤師にご相談ください。

インチュニブ®を飲んでいる時にご注意いた

失神のこと

インチュニブ®を飲むと、**気分が悪くなる、視野がぼやけるなどの症状や、失神(気を失う)**があらわれる可能性があります。

対策

- 「失神があらわれる可能性があるお薬を飲んでいる」ことを、ご家族やパートナーの方、学校・大学等の教師、職場の上司・同僚の方などにお伝えすることをご検討ください。
- ご家族やパートナーの方は、患者さんの様子を注意深く観察してください。

注意点

- 気分が悪くなる、視野がぼやけるなどの症状や、失神があらわれた場合は、しばらく安静にいただき、すぐに主治医にご相談ください。

上記以外にも、いつもと違う様子がみられたら、

だきたいこと

眠気のこと

インチュニブ®を飲むと、眠くなる、体がだるい／ぼーっとするなどの症状があらわれる可能性があります。

対策

- 「眠気があらわれる可能性があるお薬を飲んでいる」ことを、ご家族やパートナーの方、学校・大学等の教師、職場の上司・同僚の方などにお伝えすることをご検討ください。

注意点

- インチュニブ®を飲んでいる時は、自動車の運転など、危険を伴う機械の操作には従事しないでください。

すぐに主治医又は薬剤師にご相談ください。

こんな時は どうすればいいの？



Q

インチュニブ®を飲み忘れてしまった場合は？

- 飲み忘れた場合は、主治医又は薬剤師にご相談ください。

Q

インチュニブ®を飲むのをやめたい場合は？

- インチュニブ®を飲むのを急にやめしまうと、一時的に
血圧が上がったり、脈拍数が増加したりすることがあるため、
勝手にやめず、主治医又は薬剤師にご相談ください。

Q

**インチュニブ®を
間違って飲み過ぎた場合は？**

- 間違って飲み過ぎた場合は、すぐに主治医又は薬剤師に
ご相談ください。
- インチュニブ®を飲む量を急激に増やすと、血圧が下がる、
脈拍数が減少する、一時的に血圧が上がる、強い眠気におそわ
れる、息苦しくなるなどの症状があらわれる可能性があります。

医薬品リスク管理計画 (RMP)

本資料は医薬品リスク管理計画に基づき
作成された資料です



武田薬品工業株式会社

〒540-8645 大阪市中央区道修町四丁目1番1号
くすり相談室 TEL 0120-566-587